# 乳がん患者さん対象
# 検査に関するアンケート結果

2020.4.21

# 目次/レポート内の表記に関して

【目次】


- アンケート概要 P3
- 結果概要 P5
- 結果詳細 P8
  - 対象者背景
  - 治療中に発現した副作用で辛かったもの
  - 治療開始前のイメージと実際に発現した副作用の程度の差
  - オンコタイプDX検査の受診意向
  - BRCA1／2遺伝子検査の受診意向
  - がん遺伝子パネル検査に関して
  - 検査を受けた方の声
- 参考資料 P49


【表記に関して】

- 治療歴がホルモン療法のみの方を**「ホルモンのみ群」**と表記
- 治療歴がホルモン療法だけでなく、化学療法や抗HER2薬の投与歴のある方を**「他治療実施群」**と表記

# アンケート概要

# アンケート概要

**【調査目的】**

下記の点の実態を把握し、今後のオンコタイプDX検査の情報提供方法や啓発活動方法の検討に役立てる。

・治療を行う上で患者さんが辛いと感じる副作用
・オンコタイプDX検査等の検査の認知度
・検査実施意向

**【調査対象者】**

乳がんと診断された、20歳以上の方　　有効回答数：215名

**【募集方法】**

がん情報サイト「オンコロ」にて募集

**【調査方法】**

インターネットによるアンケート調査

**【実施期間】**

2019年9月19日（木）～2019年9月25日（水）

# 結果概要

# 調査目的に対しての結果

**【治療を行う上で患者さんが辛いと感じる副作用】**

- 最も辛かった副作用として挙げられたのは、「ホルモン療法のみ群」では「倦怠感」を辛いと回答した方が最も高く18.2%、次いで「筋肉痛・関節痛」 と「ほてり／のぼせ／ホットフラッシュ」（「その他」に含まれる）が13.6%と同ポイントで続いた。

- 「他治療実施群」では「脱毛」が最も高く34.5%、次いで「倦怠感」「嘔気、嘔吐」が12.6%という結果であった。

**【オンコタイプDX検査等の検査の認知度】**

- オンコタイプDX検査の認知度は54.9%であった。(p.24)
- BRCA1/2遺伝子検査の認知度は56.7%であった。(p.30)
- がん遺伝子パネル検査の認知度は34.4%であった。(p.35)
- 40代,50代の方、首都圏にお住まいの方で、認知が高い傾向にあった。(p.24、30)

**【オンコタイプDX検査の実施意向】**

- オンコタイプDX検査を受けたいと思う方は74.5%であった。(p.25)
- 本調査実施前から知っていた方、本調査で検査内容の説明を読んで初めて知った方共に、受けたいと思う気持ちにほとんど変わりはなかった。(p.25)
- 受けたい理由は「再発のリスクを知りたいから」(73.6%)、「化学療法の効果が知りたいから」(65%)、「可能であれば化学療法の副作用を避けたいから」(38%)であった。(p.26)
- オンコタイプDX検査を受けたことのある方9名のうち、周囲に「薦めたいと思う方」が6名、「薦めたいかどちらとも言えない方」が3名であった。「勧めたくない方」は1人もいないという結果であった。(p.28)

# 結果概要　～副作用について～

**【治療中に発現した副作用で辛かったもの】**

- 辛いと感じる副作用は治療毎で差が表れた。
- 最も辛かった副作用として挙げられたのは、「ホルモン療法のみ群」では「倦怠感」を辛いと回答した方が最も高く18.2%、次いで「筋肉痛・関節痛」 と「ほてり／のぼせ／ホットフラッシュ」（「その他」に含まれる）が13.6%と同ポイントで続いた。
- 「他治療実施群」では「脱毛」が最も高く34.5%、次いで「倦怠感」「嘔気、嘔吐」が12.6%という結果であった。

**【治療開始前のイメージと実際に発現した副作用の程度の差】**

- 治療を受けた結果、実際に経験した副作用がイメージしていた副作用の程度と比べて辛かったと感じたものとしては、 ホルモン群では「倦怠感」「筋肉痛・関節痛」が、他治療実施群では「脱毛」「倦怠感」が上位となった。

# 結果概要　～検査について～

**【各検査の認知について】**

- 「オンコタイプDX検査」(54.9%)、「BRCA1/2遺伝子検査」(56.7%)とほぼ同等であり、過半数を若干超えていた。「がん遺伝子パネル検査」は34.4%と2つの検査と比べて認知度が低かった。

**【オンコタイプDX検査について】**

- 受けたいと思う方が75%と高く、認知の有無に関わらず受けたいと思う方は7割を超えた。
- 受けたい理由（複数回答可）は、で「再発のリスクを知りたいから」(73.6%)、「化学療法の効果が知りたいから」(65%)が上位となり、「可能であれば化学療法の副作用を避けたいから」は38%にとどまった。
- 受けたくない理由（回答者数13名、複数回答可）は、「検査費が高い」が多く、どちらとも言えない方の理由についても費用が高いことを理由に挙げる方が多かった。

# 結果概要　～検査について～

**【BRCA1／2遺伝子検査について】**

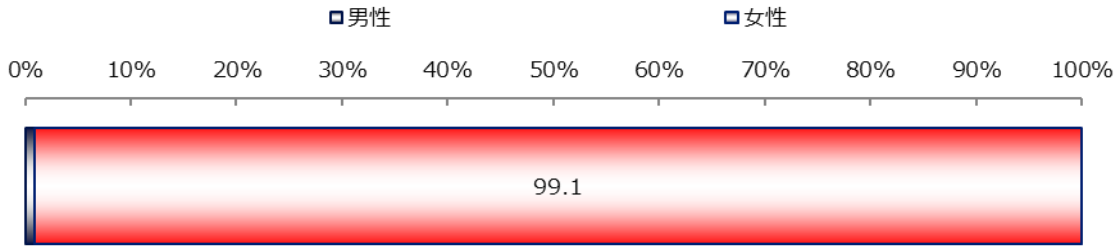
- 受けたいと思う方が57.7%であった。検査の認知のある方で41.7%、ない方で75.2%と、オンコタイプDX検査と異なり認知の有無で大きな開きがあった。
- 受けたい理由（複数回答可）は「自身のがんリスクについて知りたい」(78.8%)、「家族のがんリスクについて知りたい」(62.9%)、「治療選択肢を増やしたい」(37.1%)であった。
- 受けたくない理由（複数回答可）は、「結果に関わらず、行う治療は決まっているから」(42.9%)、「検査費が高いから」(37.1%)が上位であった。

# 結果詳細
# 対象者背景

# 対象者背景

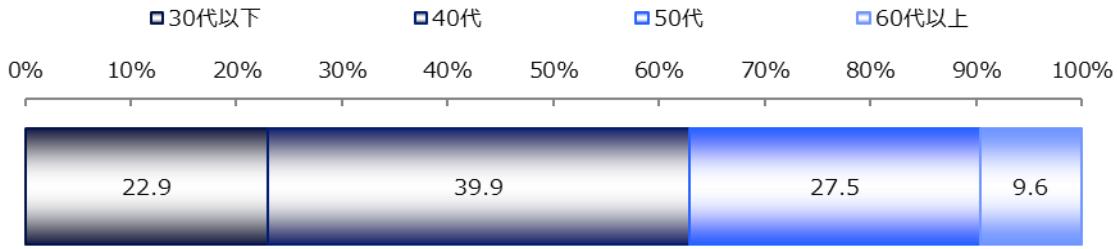
回答者の性別

n=218



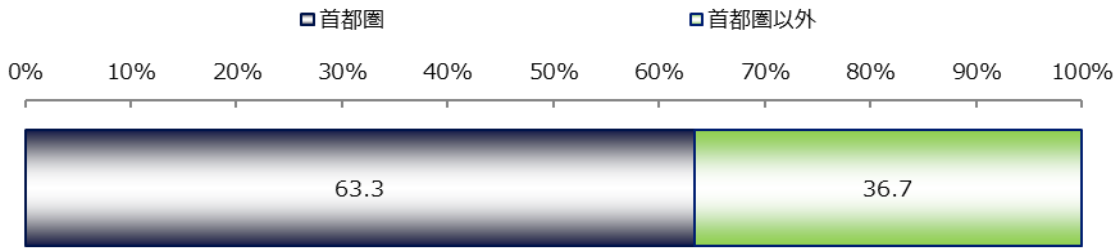

回答者の年代

n=218



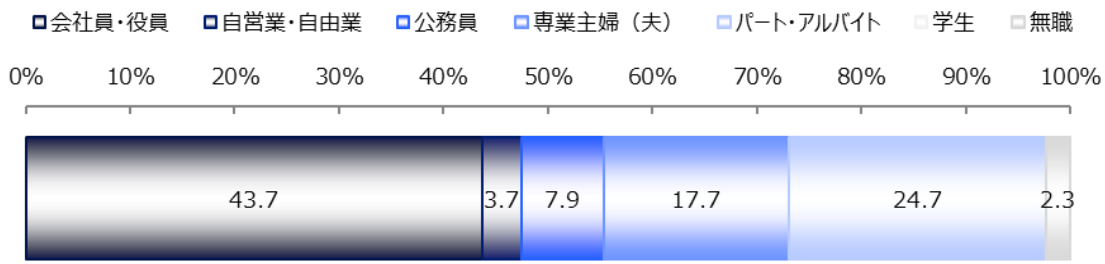

回答者の
居住地域

n=218




回答者の職業

n=215

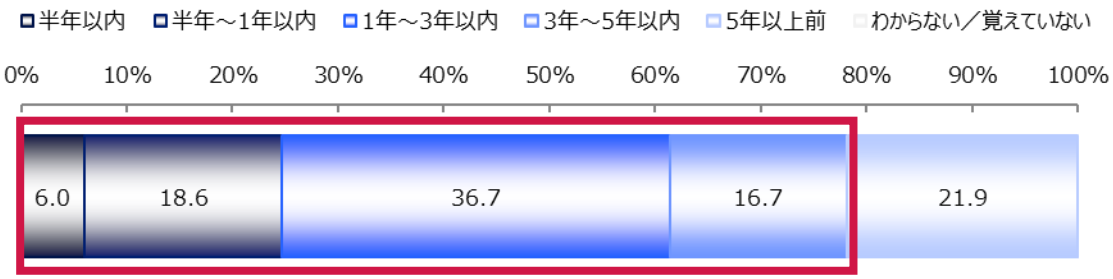


# 乳がんの罹病状況 -①

・診断から5年以内の方が多く、78%であった。
・ステージ0、Ⅰ、Ⅱの早期の方が9割以上を占めた。
・再発／転移の有無は「ない」方が82.1%であった。

Q　初めて乳がんと診断されたのは、いつですか。

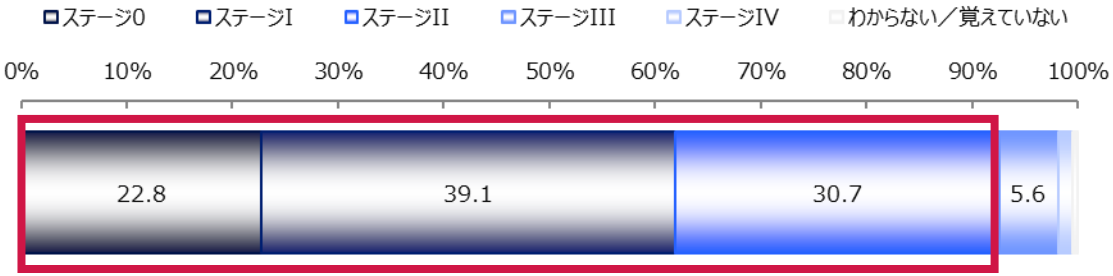
n=215




**5年以内 計：78%**

Q　初回診断時のステージを教えてください。

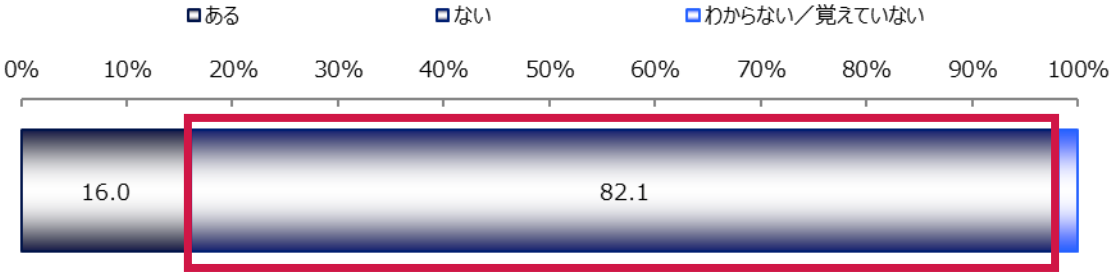
n=215




**ステージ0、I、II　計：92.6%**

Q　再発／転移はありますか。

n=212



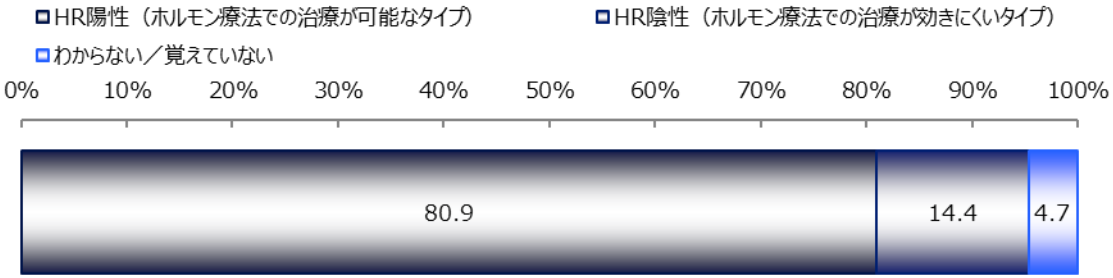

**転移なし：82.1%**

# 乳がんの罹病状況 -②

・HR(＋）HER2（＋）の患者が最も多く、36.3%であった。
・HR(＋）HER2（－）の患者が一般的に多いとされてるが、今回の調査対象者の中では3割にとどまった。

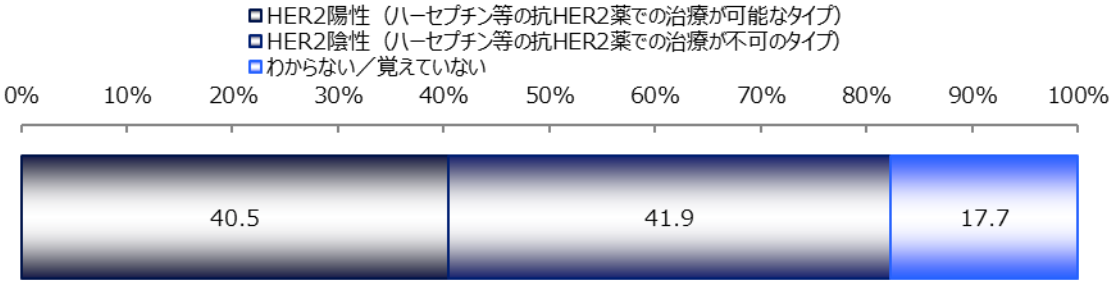
Q　HRのタイプ（ホルモン療法での治療が可能なタイプかどうか）を教えてください。

n=215




Q　HER2のタイプ（ハーセプチン等の抗HER2薬での治療が可能なタイプかどうか）を教えてください。

n=215




参考：サブグループ

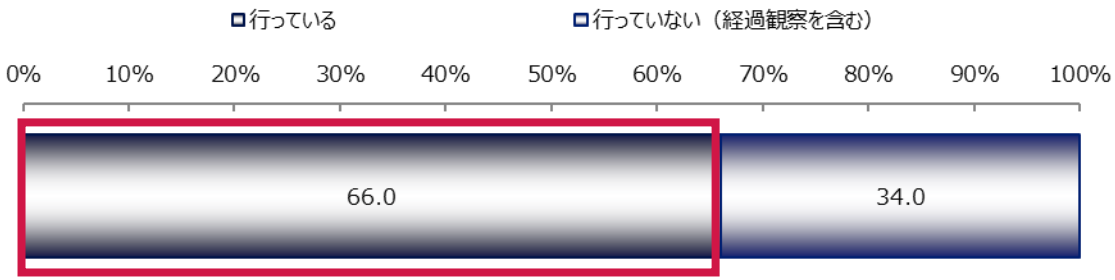
| | |
|---|---|
| HR(－）HER2（－） | 18 |
| | 8.4% |
| HR(－）HER2（＋） | 9 |
| | 4.2% |
| HR(＋）HER2（＋） | 78 |
| | 36.3% |
| HR(＋）HER2（－） | 72 |
| | 33.5% |
| わからない／覚えていない | 38 |
| | 17.7% |

# 乳がんの罹病状況 -③

・現在治療中の人が66%と、6割以上の方が現在も治療を行っている。

Q　現在、医療機関で、乳がんの治療を行っていますか。

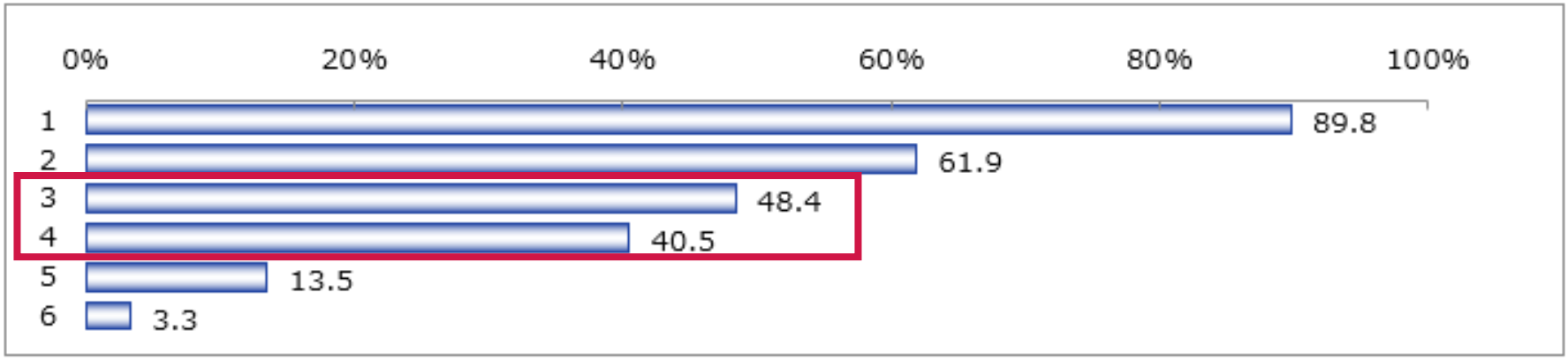
n=215



# 乳がんの罹病状況 -④

## 今まで行ったことのある治療

・ホルモン治療を行ったことがある方は48.4%、化学療法を行ったことがある方は40.5%であった。



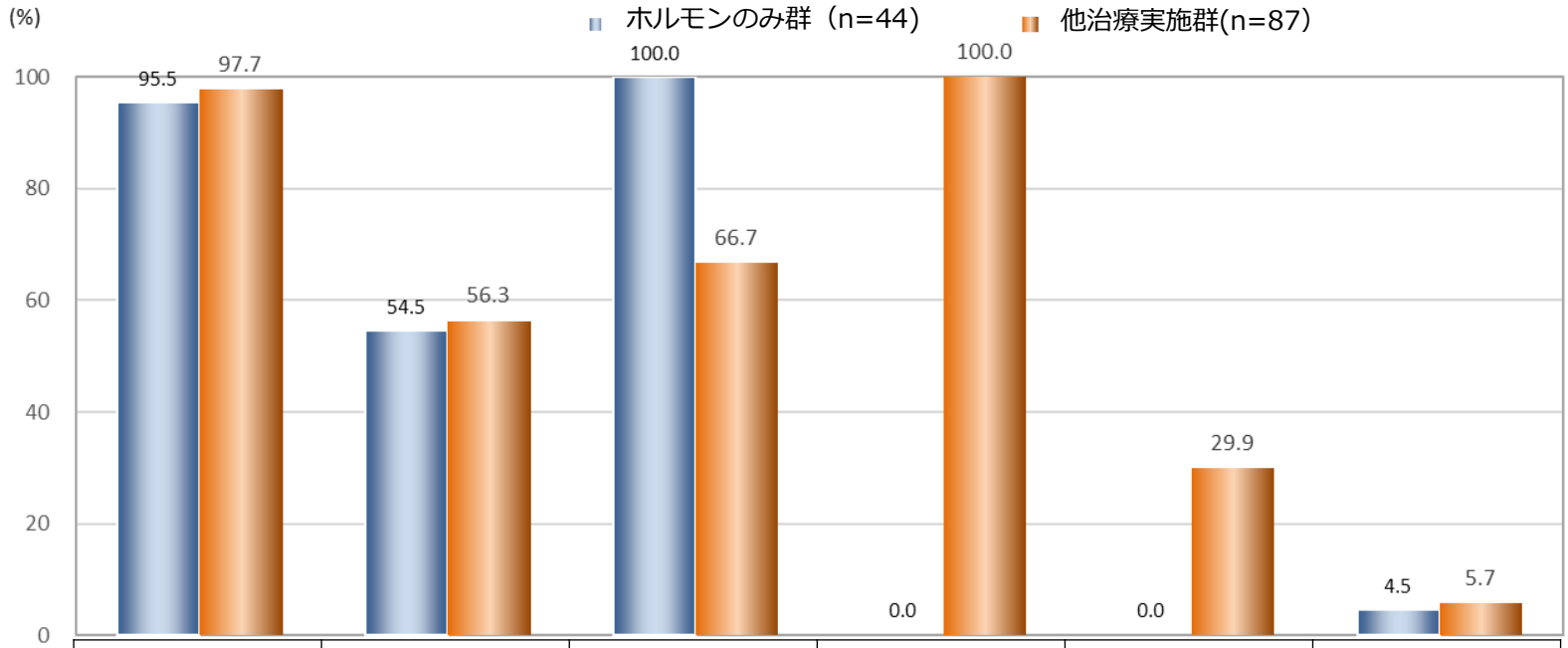

n=215

| | | n | % |
|---|---|---|---|
| | 全体 | 215 | 100.0 |
| 1 | 手術 | 193 | 89.8 |
| 2 | 放射線治療 | 133 | 61.9 |
| 3 | ホルモン療法（タモキシフェン、ゾラデックス、リュープリン、フェマーラ、アリミデックスなど） | 104 | 48.4 |
| 4 | 化学療法（AC、EC、TC、AC-T、FECなど） | 87 | 40.5 |
| 5 | 抗HER2薬（ハーセプチン、カドサイラなど） | 29 | 13.5 |
| 6 | その他： | 7 | 3.3 |

Q　現在も含めて、今まで行ったことのある治療を全て選んでください。【複数選択】

# 乳がんの罹病状況 -⑤

## 今まで行ったことのある治療




n=215

| | | n | 手術 | 放射線治療 | ホルモン療法（タモキシフェン、ゾラデックス、リュープリン、フェマーラ、アリミデックスなど） | 化学療法（AC、EC、TC、AC-T、FECなど） | 抗HER2薬（ハーセプチン、カドサイラなど） | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | | 215 | 89.8 | 61.9 | 48.4 | 40.5 | 13.5 | 3.3 |
| 療法別 | ホルモンのみ群 | 44 | 95.5 | 54.5 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 4.5 |
| | 他治療実施群 | 87 | 97.7 | 56.3 | 66.7 | 100.0 | 29.9 | 5.7 |

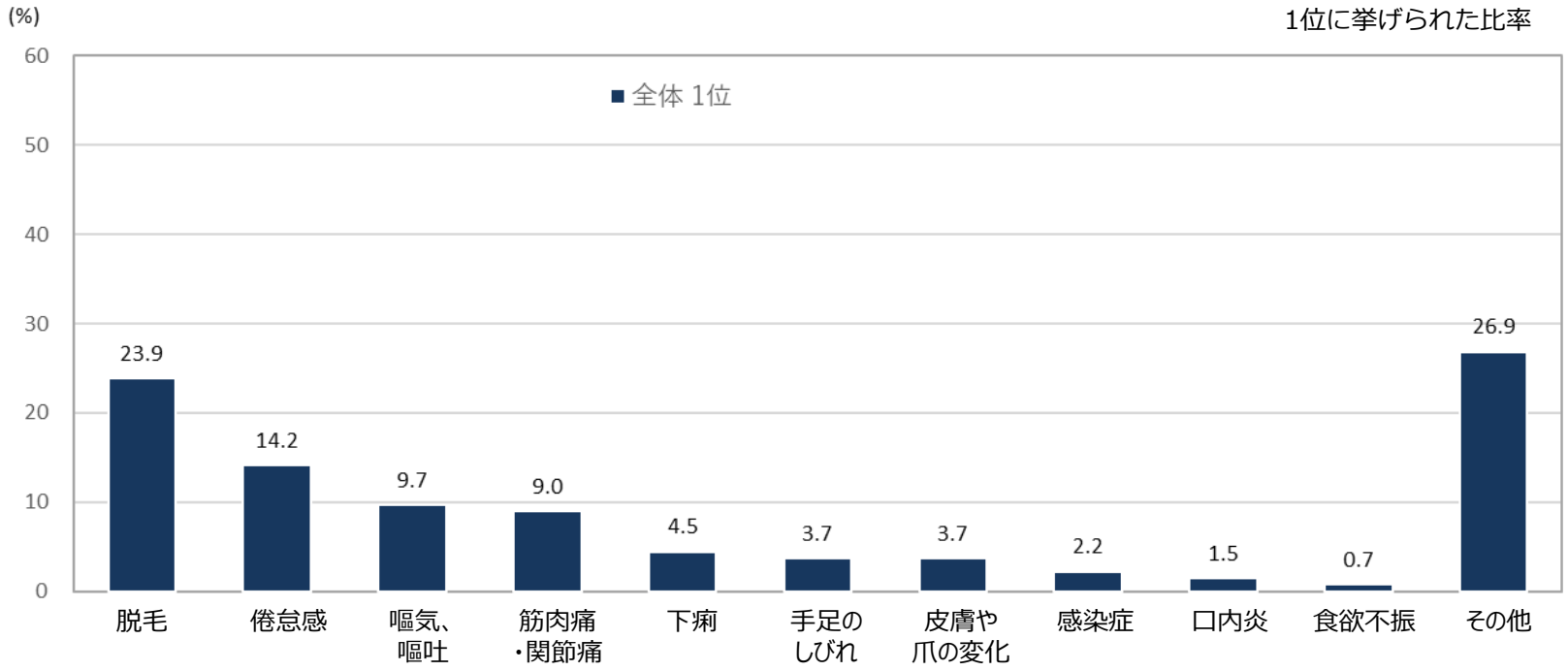
Q　現在も含めて、今まで行ったことのある治療を全て選んでください。【複数選択】

# 結果詳細
# 治療中に発現した副作用で辛かったもの

# 治療中に発現した副作用で辛かったもの： 全体

全体　（n=134）

- 全体で、最もつらかった副作用として挙がったのは、上位から「脱毛」（23.9%）、「倦怠感」（14.2%）、「嘔気、嘔吐」（9.7%）という結果であった。
- 最も辛かった副作用で、「その他」として選択肢になかった項目を挙げた人も多く、「ほてり／のぼせ／ホットフラッシュ」、「うつ」、「味覚障害」などが挙がった。




**「その他」詳細**

＊「その他」を１位に挙げた方(n=36)

●ほてり／のぼせ／ホットフラッシュ (n=6、4.4%)
●うつ (n=5、3.7%)
●味覚障害 (n=4、2.9%)
●浮腫 (n=2、1.4%)

以下全て n=1
●体重増加 ●血管外漏出 ●便秘 ●傷の痛み ●食道の痛み ●眠気 ●不正出血 ●睡眠障害 ●ケモブレイン ●むくみ ●体中の湿疹と腫れ ●肩、背中のこり ●手指の変形 ●月経停止 ●動悸

●特になし (n=6)

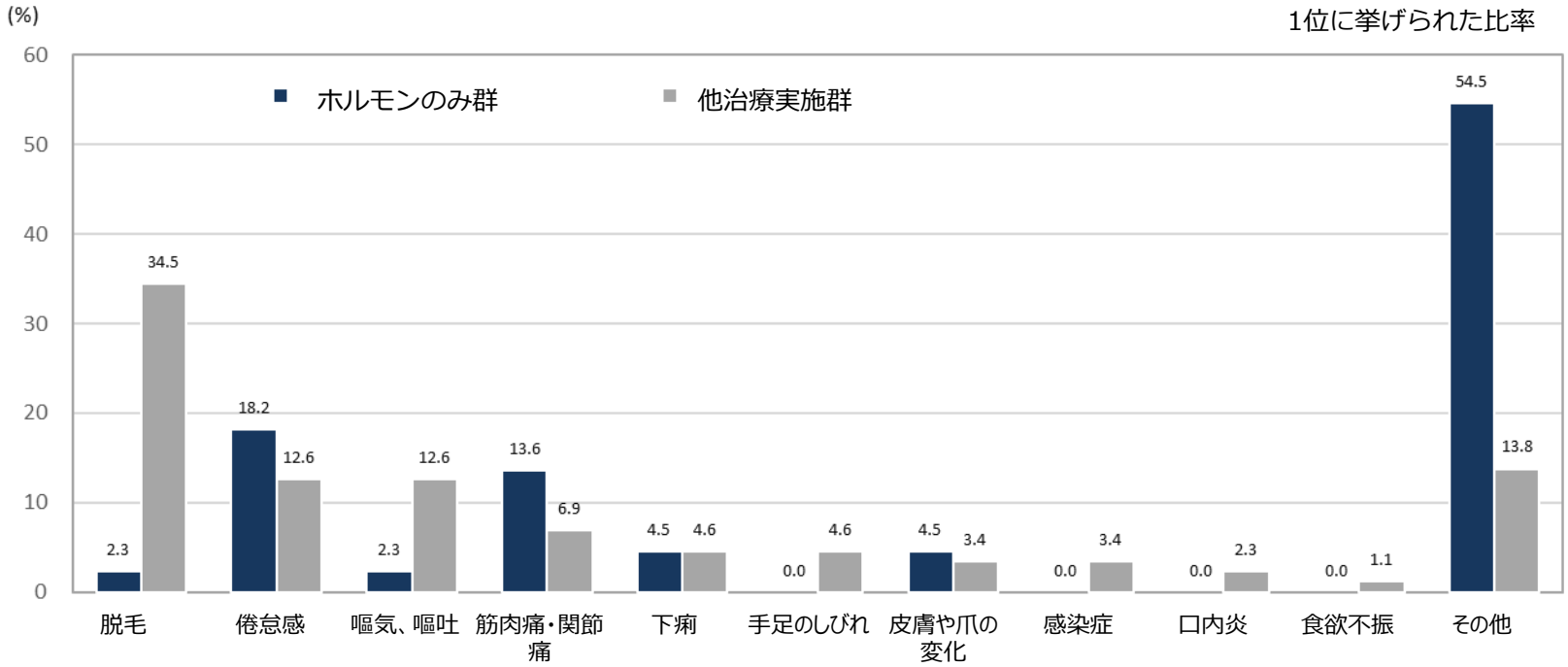
Q　治療中に発現した副作用の中で、辛かったもの上位5つに、順位をつけてください。【順位をお選びください】

# 治療中に発現した副作用で辛かったもの： 療法別比較

「ホルモンのみ群」n=44

「他治療実施群」　n=87

- 最も辛かった副作用として挙げられたのは、「ホルモン療法のみ群」では「倦怠感」を辛いと回答した方が最も高く18.2%、次いで「筋肉痛・関節痛」 と「ほてり／のぼせ／ホットフラッシュ」（「その他」に含まれる）が13.6%と同ポイントで続いた。
- 「他治療実施群」では「脱毛」が最も高く34.5%、次いで「倦怠感」「嘔気、嘔吐」が12.6%という結果であった。




**「その他」詳細**

*ホルモンのみ群で「その他」を１位に挙げた方（n=24）

- ほてり／のぼせ／ホットフラッシュ (n=6、**13.6%**)
- うつ(n=5、**11.3%**)

以下全て n=1

●むくみ ●不正出血 ●肩、背中のこり ●傷の痛み ●睡眠障害 ●眠気 ●ケモブレイン ●体重増加 ●体中の湿疹と腫れ ●動悸

●特になし(n=4)

Q　治療中に発現した副作用の中で、辛かったもの上位5つに、順位をつけてください。　【順位をお選びください】

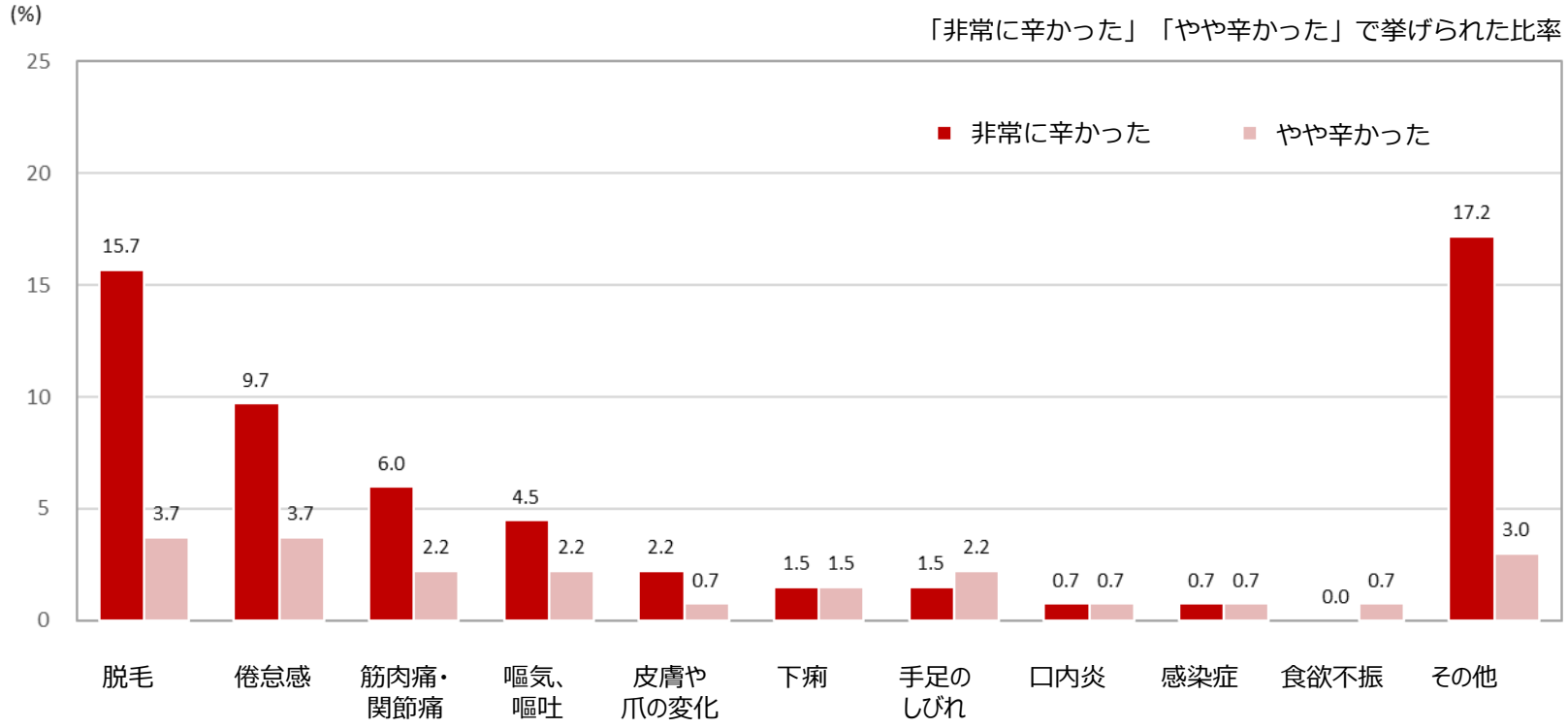
# 結果詳細
# 治療開始前のイメージと
# 実際に発現した副作用の程度の差

# 治療開始前のイメージと実際に発現した副作用の程度の差

「治療中発現の副作用で辛かったもの」として1位にあげた副作用が
治療前にイメージしていた程度よりも
「非常に辛かった」「やや辛かった」と回答した割合

「全体」　n=134

- 最も辛かったとして挙げた副作用が、治療開始前のイメージと比べて「非常に辛かった」と回答した人の割合は、「脱毛」が15.7%と最多であり、次いで「倦怠感」9.7%、「筋肉痛・関節痛」6.0%と続いた。
- 上記の副作用に関しては投与前のイメージよりも実際はとても辛く感じるという点が示唆された。
- 「その他」を「非常に辛かった」とした割合も17.2%となった。



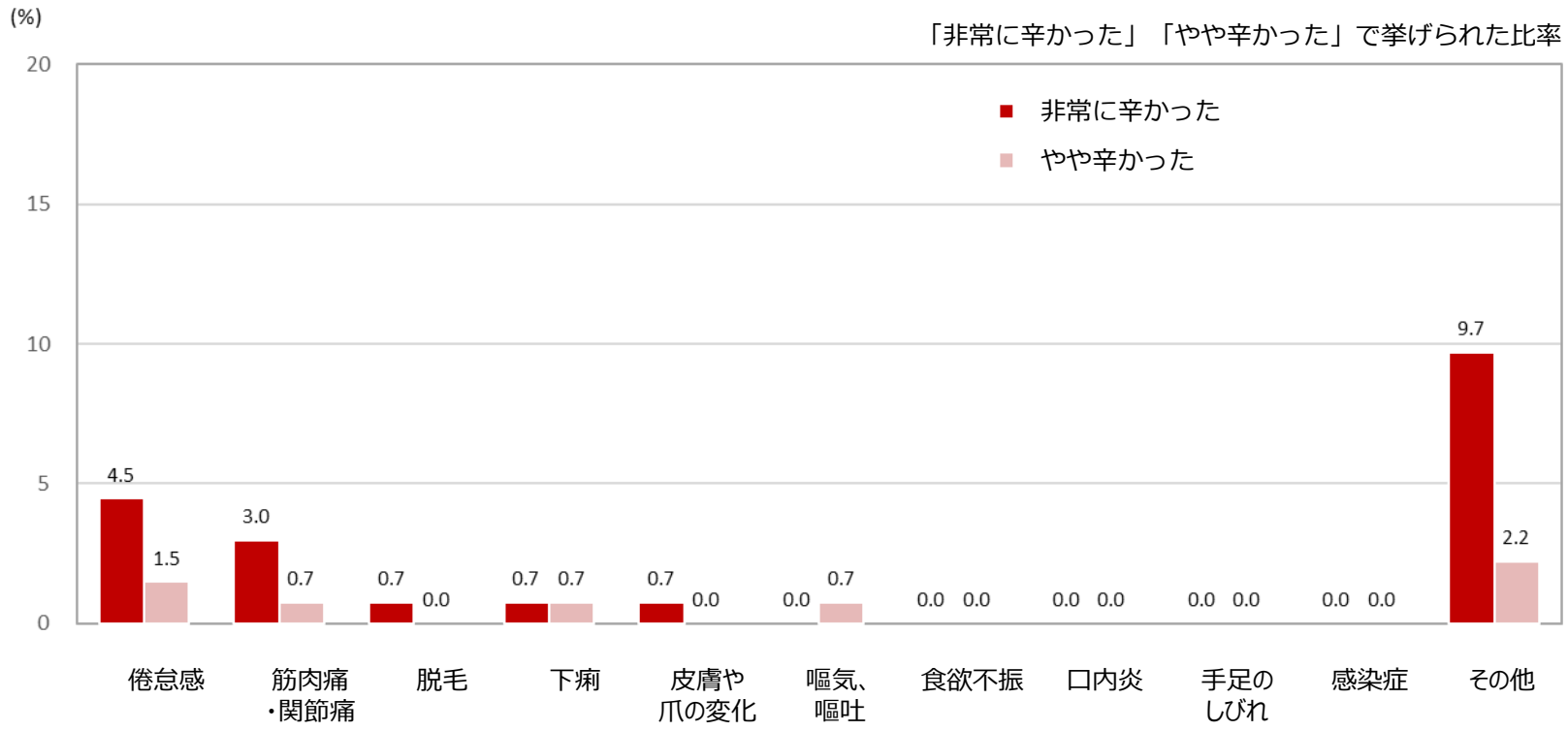

Q　治療開始前にイメージしていた副作用の程度と、実際に発現した副作用の程度の違いを教えてください。

# 治療開始前のイメージと実際に発現した副作用の程度の差

「治療中発現の副作用で辛かったもの」として1位にあげた副作用が
治療前にイメージしていた程度よりも
「非常に辛かった」「やや辛かった」と回答した割合

「ホルモンのみ群」　n=44

- 最も辛かったとして挙げた副作用が、治療開始前のイメージと比べて「非常に辛かった」と回答した人の割合は、「倦怠感」が4.5%、次いで「筋肉痛・関節痛」が3.0%であった。
- 「ホルモンのみ群」では「その他」で挙げた副作用がイメージよりも辛かったと回答した方が9.7%に達した。



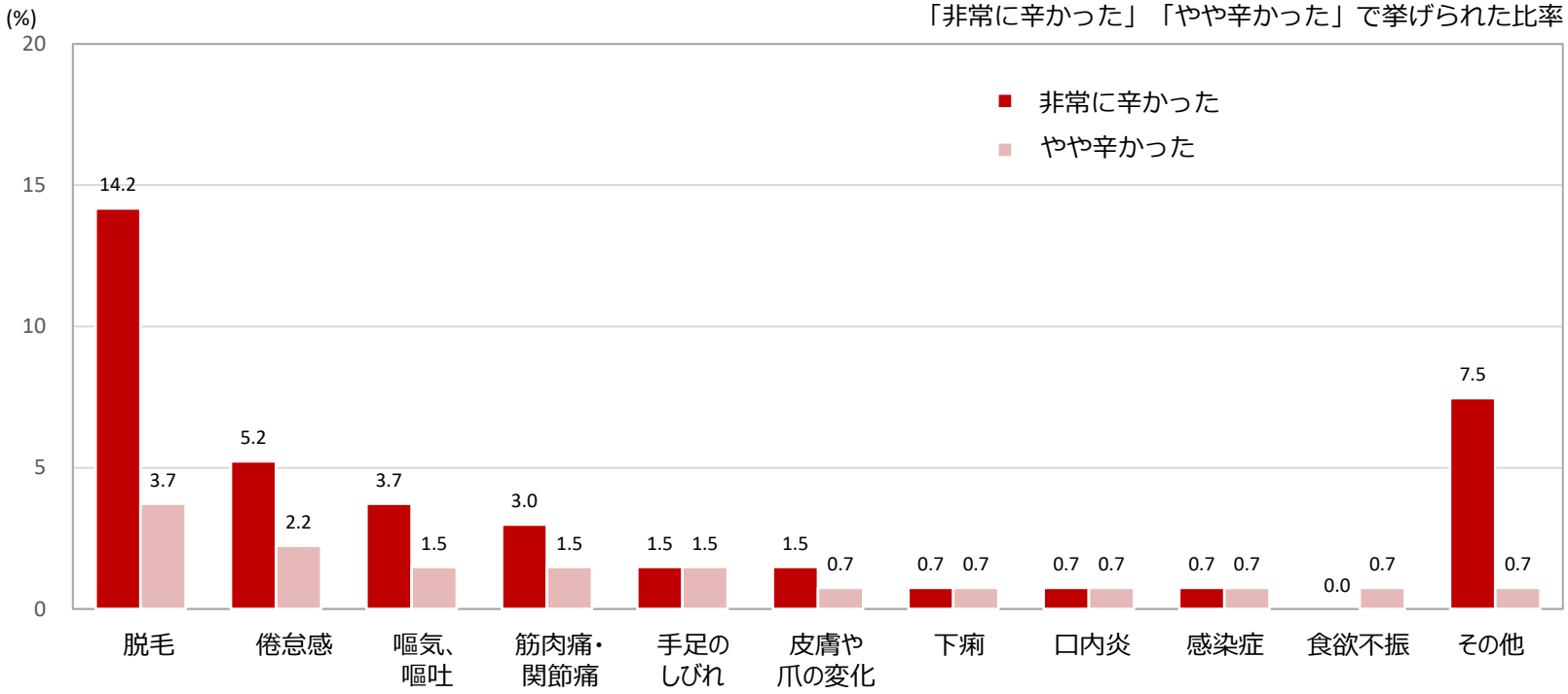

Q　治療開始前にイメージしていた副作用の程度と、実際に発現した副作用の程度の違いを教えてください。

# 治療開始前のイメージと実際に発現した副作用の程度の差

「治療中発現の副作用で辛かったもの」として1位にあげた副作用が
治療前にイメージしていた程度よりも
「非常に辛かった」「やや辛かった」と回答した割合

「他治療実施群」　n=87

- 最も辛かったとして挙げた副作用が、治療開始前のイメージと比べて「非常に辛かった」と回答した人の割合は、「脱毛」が14.2%、次いで「倦怠感」が5.2%、「嘔気・嘔吐」が3.7%と続いた。
- 他の副作用と比べ、「脱毛」を非常に辛いと回答した方が多かった。

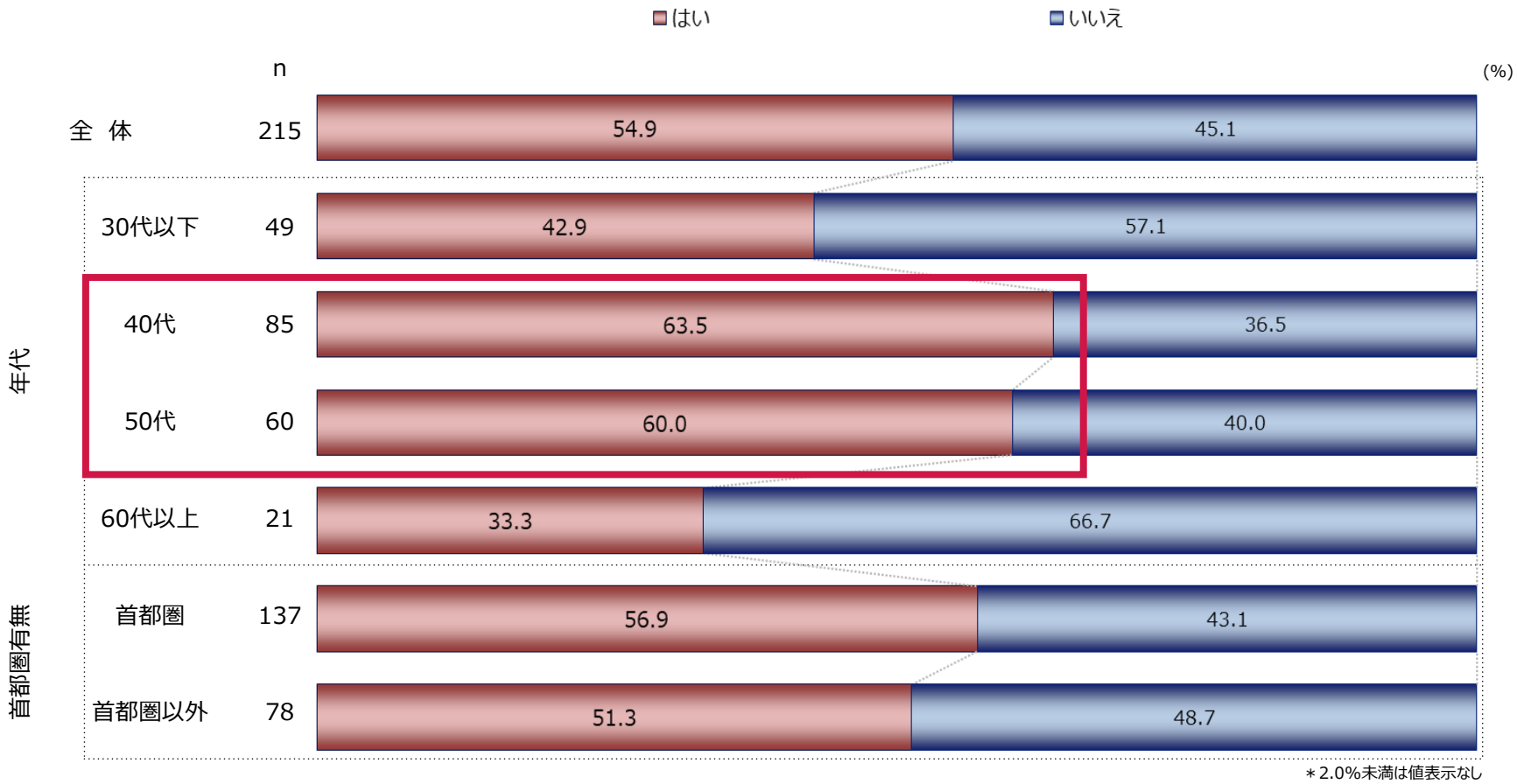



Q　治療開始前にイメージしていた副作用の程度と、実際に発現した副作用の程度の違いを教えてください。

# 結果詳細
# オンコタイプDX検査の受診意向

# オンコタイプDX検査の認知状況

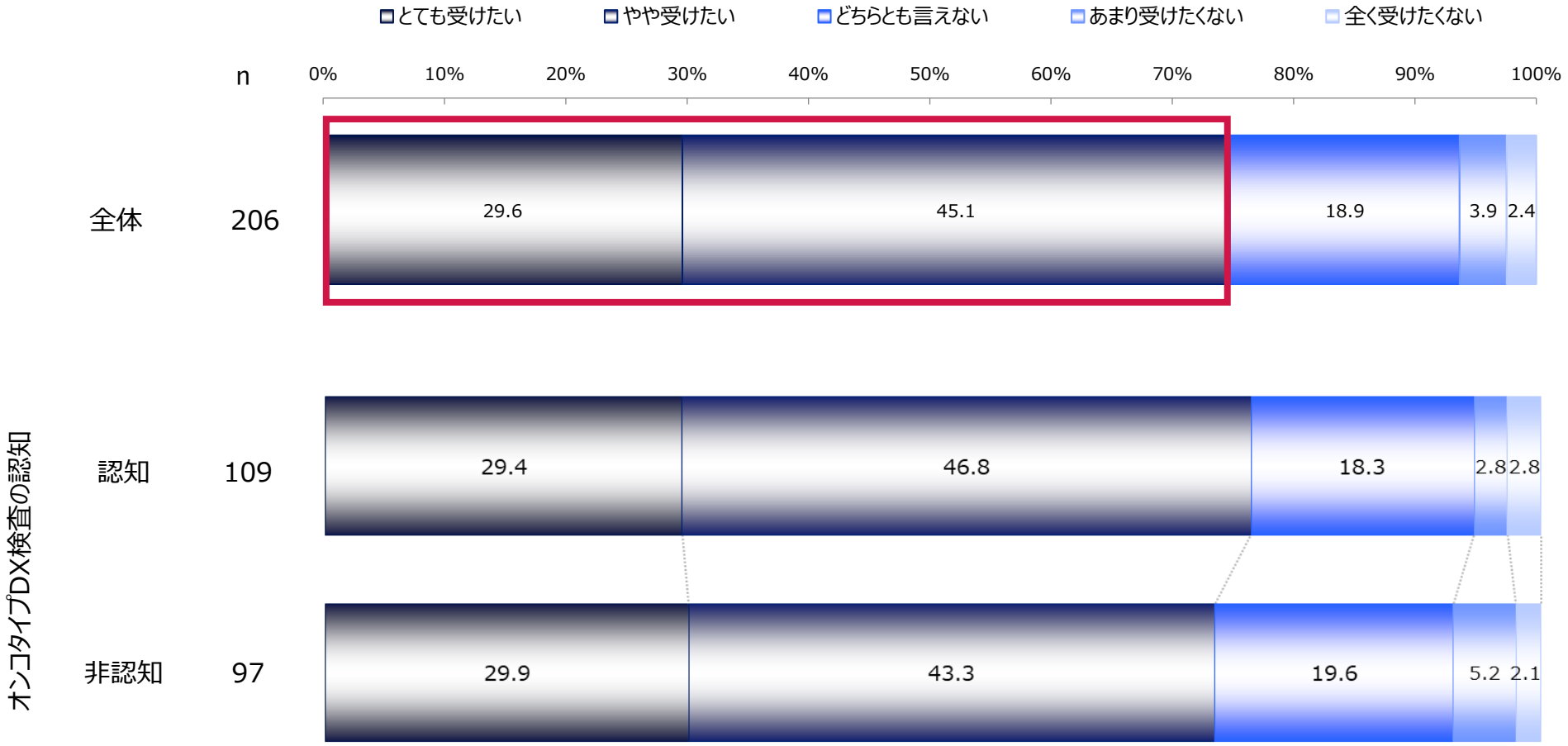
- 全体では、認知と非認知がほぼ半々だったが、認知が54.9%とわずかながら非認知を上回った。
- 属性別には、認知は「40代」「50代」で、全体と比較して高かった。




Q 「オンコタイプDX検査」をご存知でしたか。

# オンコタイプDX検査の受診意向

- 全体では、「やや受けたい」「とても受けたい」の“受けたい”合計が約4分の３を占め、後述のBRCA1／2遺伝子検査の”受けたい“とした回答割合よりも20%程度高い結果となった。
- オンコタイプDX検査の認知有無別にみても、知っていた方の76%、知らなかった方でも73%の人が「受けたい」と回答した。

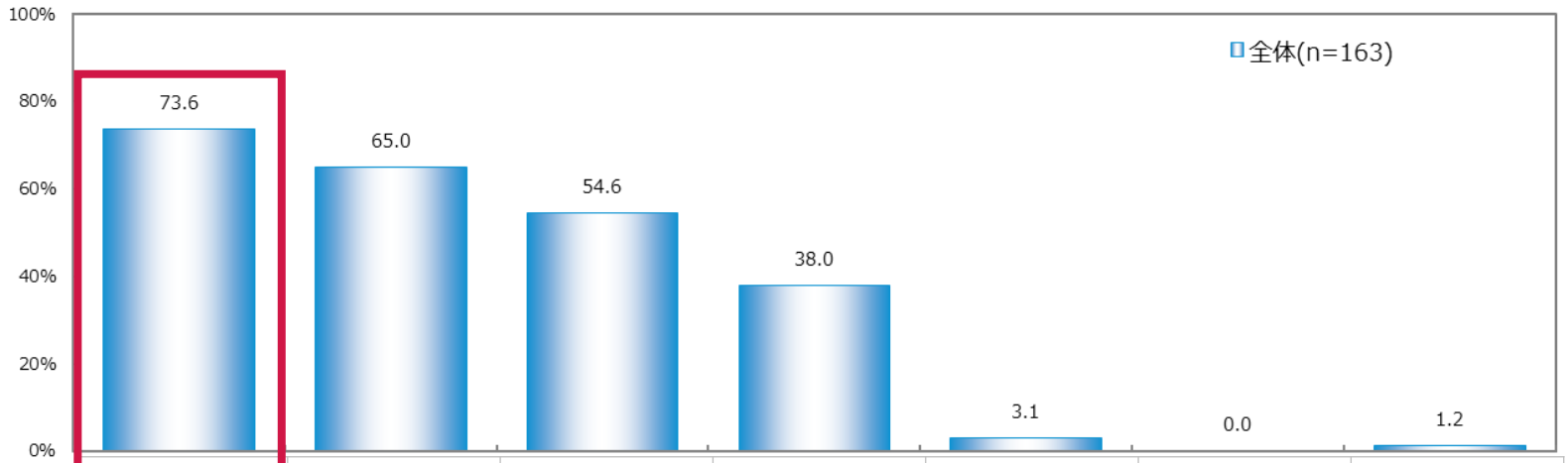



＊2.0%未満は値表示なし

Q　もしご自身がこの検査の対象であった場合、「オンコタイプDX検査」を受けたいと思いますか。

# オンコタイプDX検査の受診意向（受けたい理由）

- 受けたい理由として、「再発のリスクを知りたいから」が最も高く、次いで「化学療法の効果が知りたいから」が続いた。
- 「化学療法の副作用を避けたい」と考えるよりも、「より自分に合った治療を選択したい」人の割合の方が高く、必ずしも化学療法を受けたくないと考える人ばかりではないことが示唆された。



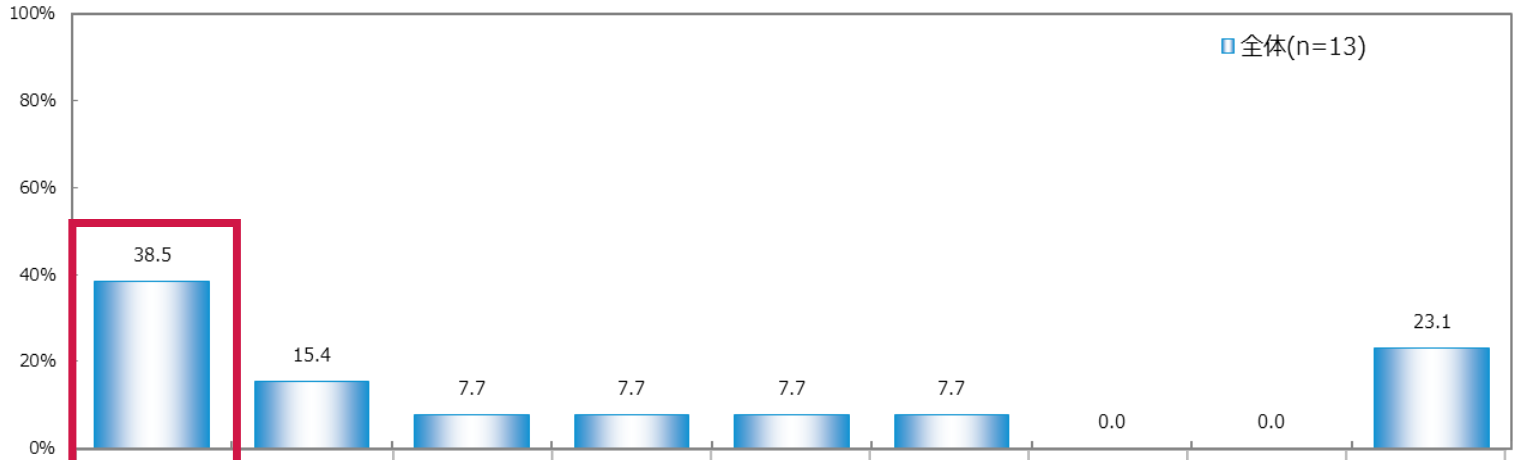

| | | n | 再発のリスクを知りたいから | 化学療法の効果が知りたいから | より自分に合った治療を選択したいから | 可能であれば化学療法の副作用を避けたいから | 主治医に勧められたから | 主治医以外の周囲の方に勧められたから | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | 163 | 73.6 | 65.0 | 54.6 | 38.0 | 3.1 | 0.0 | 1.2 |
| オンコタイプDX検査の認知 | 認知 | 92 | 68.5 | 68.5 | 56.5 | 33.7 | 4.3 | 0.0 | 2.2 |
| | 非認知 | 71 | 80.3 | 60.6 | 52.1 | 43.7 | 1.4 | 0.0 | 0.0 |

Q 「オンコタイプDX検査」を受けたいと思った理由について、当てはまるものを全て選んでください。【複数選択】

# オンコタイプDX検査の受診意向（受けたくない理由）

- 受けたくない主な理由として、「検査費が高いから」を選択した方の比率が最も高かった。
- 「再発リスクを知りたいと思わない」と考える方が15%程度、「結果に関わらず化学療法を受けようと考えている」方も7%程度存在するという結果であった。

＜n=13のため、 参考値＞



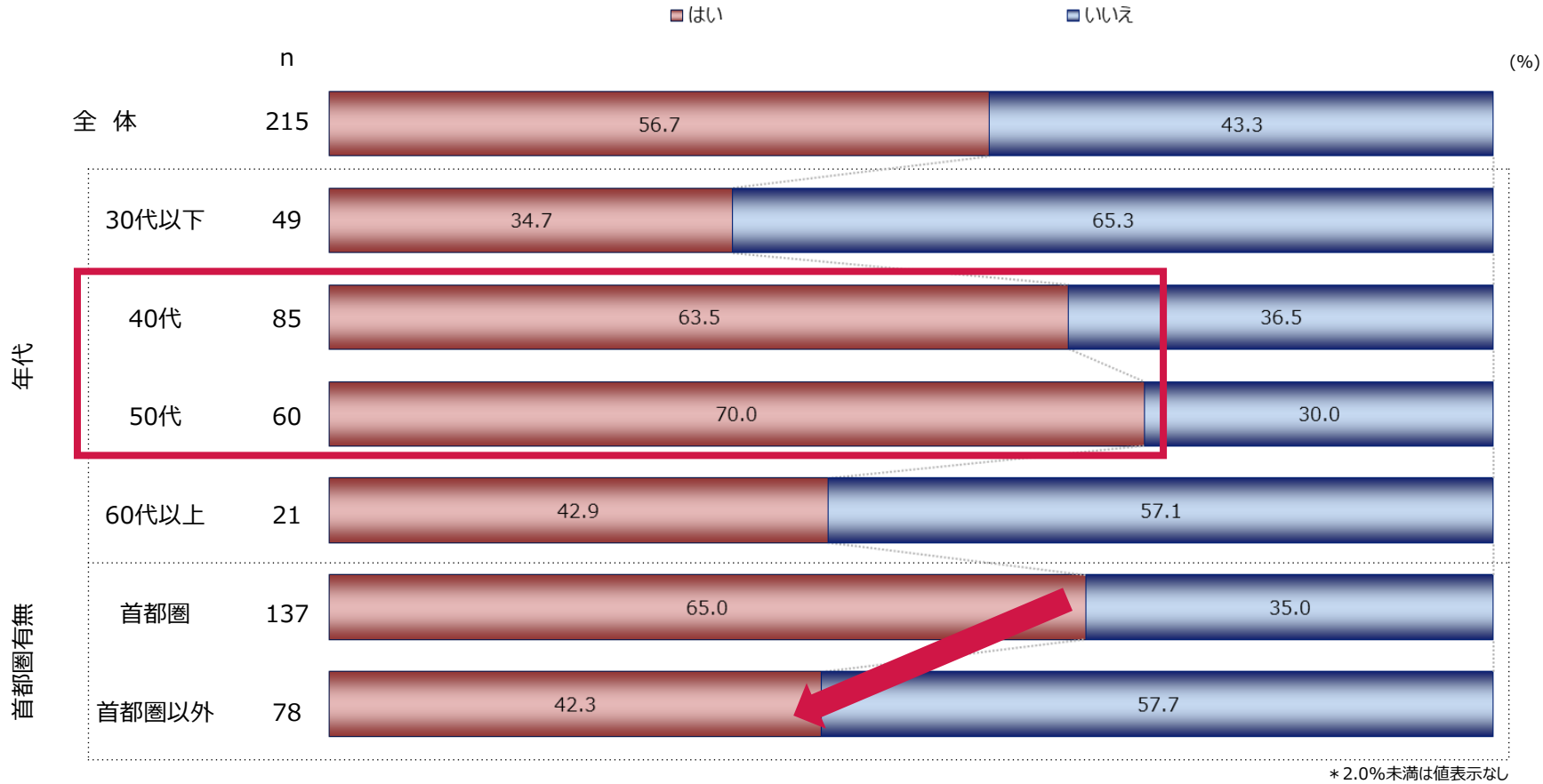

| | | n | 検査費が高いから | 再発リスクを知りたいと思わないから | 結果に関わらず、化学療法を受けようと考えているから | 結果に関わらず、化学療法は受けたくないから | 検査の対象とならないから | 検査が普及していないから | 化学療法の効果を知りたいと思わないから | 検査の手間が面倒だから | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | | 13 | 38.5 | 15.4 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | 0.0 | 0.0 | 23.1 |
| オンコタイプDX検査の認知 | 認知 | 6 | 50.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 16.7 |
| | 非認知 | 7 | 28.6 | 28.6 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 28.6 |

Q　「オンコタイプDX検査」を受けたいと思わない理由について、当てはまるものを全て選んでください。【複数選択】

# 結果詳細
# BRCA1／2遺伝子検査の受診意向

# BRCA1／2遺伝子検査の認知状況

- BRCA1／2遺伝子検査の認知有無は、オンコタイプDX同様に認知と非認知がほぼ半々で認知が56.7%とわずかながら非認知を上回った。
- 属性別には、「40代」「50代」の認知度が、オンコタイプDX検査と同様に高かった。
- BRCA1／2遺伝子検査の方が、認知度に居住圏がより影響している結果であった。

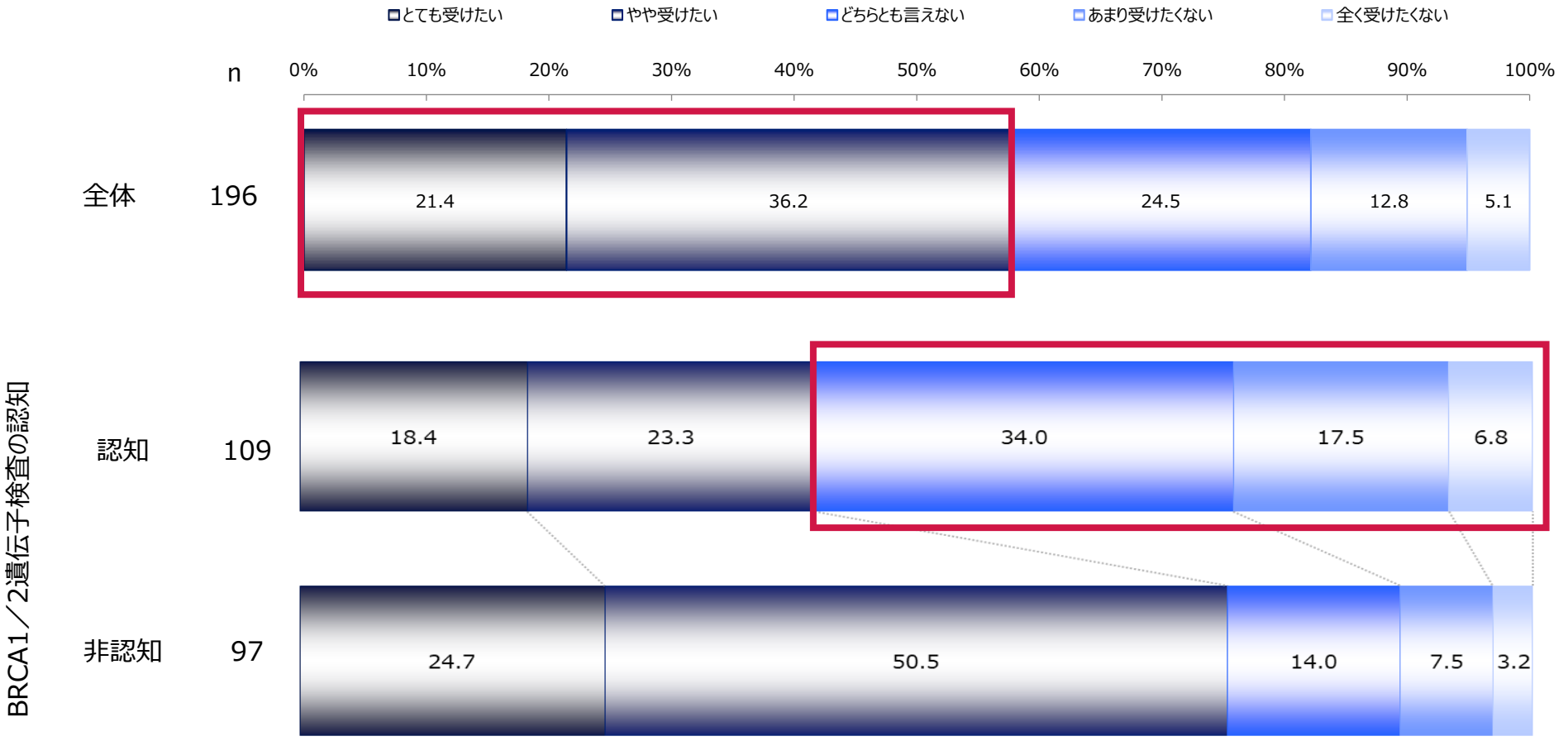



＊2.0%未満は値表示なし

Q 「BRCA1／2遺伝子検査」をご存知でしたか。

# BRCA1／2遺伝子検査の受診意向

- 全体では、「やや受けたい」「とても受けたい」の“受けたい”合計が半数以上を占めた。
- BRCA1/2遺伝子検査の認知有無別にみても、知っていた方の41%、知らなかった方でも75%の人が「受けたい」と回答した。
- 元々認知していた方の方が「どちらとも言えない」、また“受けたくない”との回答割合が高かった。

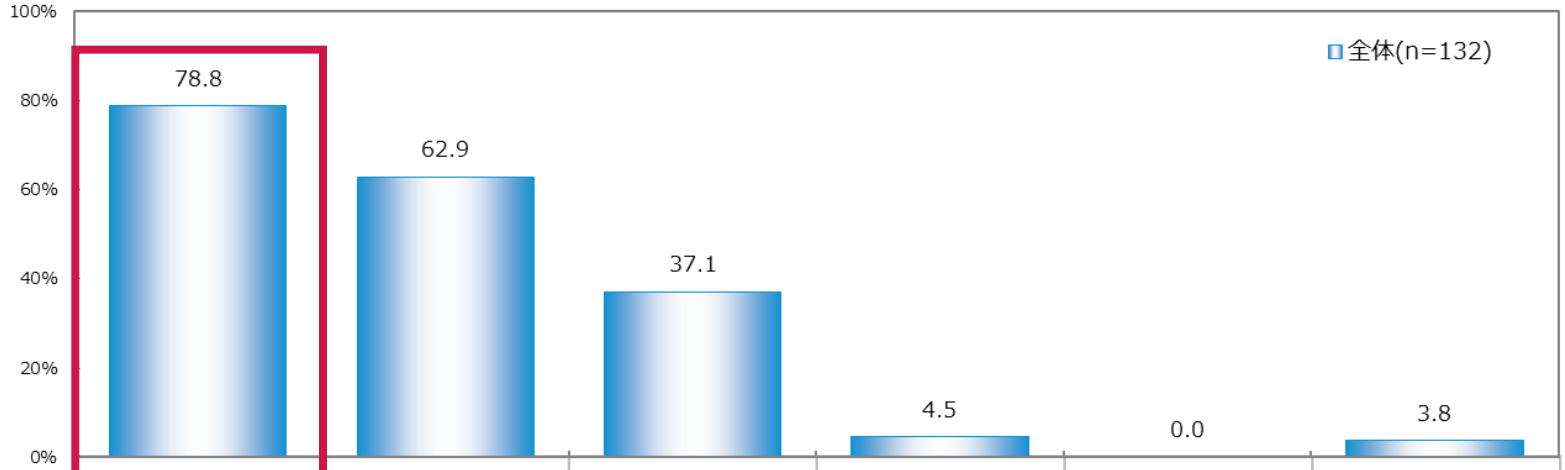



＊2.0%未満は値表示なし

Q 「BRCA1／2遺伝子検査」を受けたいと思いますか。

# BRCA1／2遺伝子検査の受診意向（受けたい理由）

- 受けたい理由としては「自身の乳がん／卵巣がんリスクについて知りたいから」が最も高く、次いで「家族の乳がん／卵巣がんリスクについて知りたいから」が続いた。

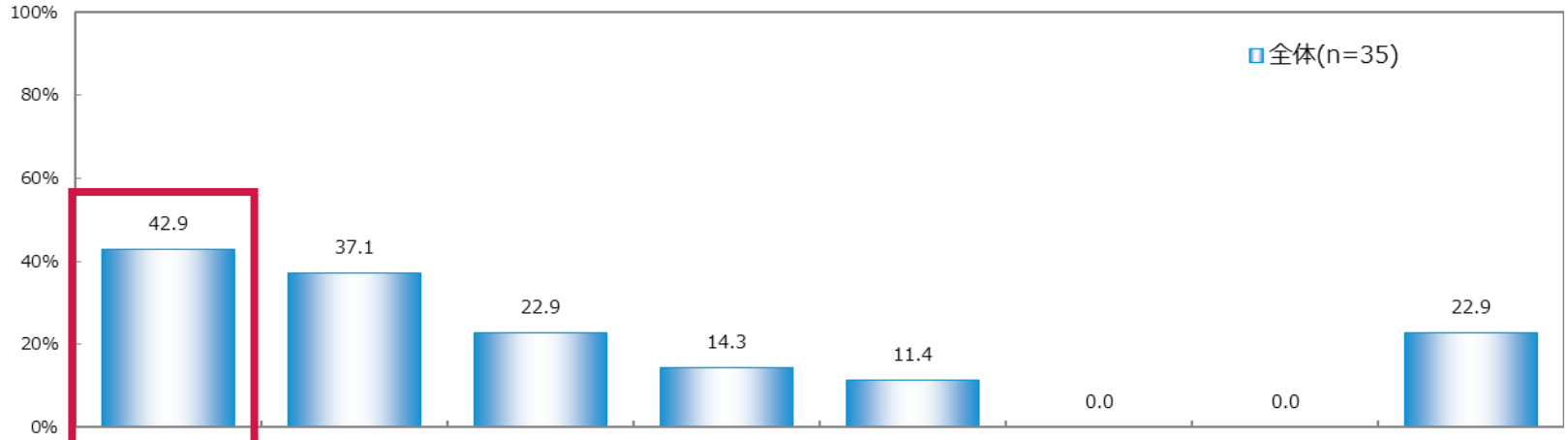



| | | n | 自身の乳がん／卵巣がんリスクについて知りたいから | 家族の乳がん／卵巣がんリスクについて知りたいから | 治療選択肢を増やしたいから | 主治医（かかりつけ医）に勧められたから | 主治医以外の周囲の方に勧められたから | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全体 | | 132 | 78.8 | 62.9 | 37.1 | 4.5 | 0.0 | 3.8 |
| BRCA1／2遺伝子検査の認知 | 認知 | 62 | 72.6 | 53.2 | 48.4 | 9.7 | 0.0 | 8.1 |
| | 非認知 | 70 | 84.3 | 71.4 | 27.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

Q　「BRCA1／2遺伝子検査」を受けたいと思った理由について、当てはまるものを全て選んでください。【複数選択】

# BRCA1／2遺伝子検査の受診意向（受けたくない理由）

- 受けたくない理由としては「結果に関わらず、行う治療は決まっているから」が最も高く、次いで「検査費が高いから」「家族の乳がん／卵巣がんリスクについて知りたいと思わないから」が続いた。
- 「検査費が高いから」はBRCA1／2遺伝子検査の非認知者で60%と認知者の倍となり、非認知者では漠然と高額なイメージが持たれていることがうかがえる。
- 「自分、また家族の乳がん／卵巣がんリスクについて知りたいと思わないから」という方も10～20%の割合で存在するという結果であった。



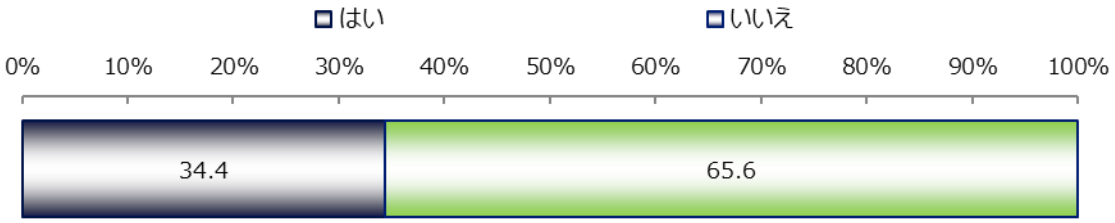

| | | n | 結果に関わらず、行う治療は決まっているから | 検査費が高いから | 家族の乳がん／卵巣がんリスクについて知りたいと思わないから | 検査の対象とならないから | 自身の乳がん／卵巣がんリスクについて知りたいと思わないから | 検査が普及していないから | 検査の手間が面倒だから | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 全　体 | | 35 | 42.9 | 37.1 | 22.9 | 14.3 | 11.4 | 0.0 | 0.0 | 22.9 |
| BRCA1／2遺伝子検査の認知 | 認知 | 25 | 44.0 | 28.0 | 24.0 | 20.0 | 16.0 | 0.0 | 0.0 | 32.0 |
| | 非認知 | 10 | 40.0 | 60.0 | 20.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

Q　「BRCA1／2遺伝子検査」を受けたいと思わない理由について、当てはまるものを全て選んでください。【複数選択】

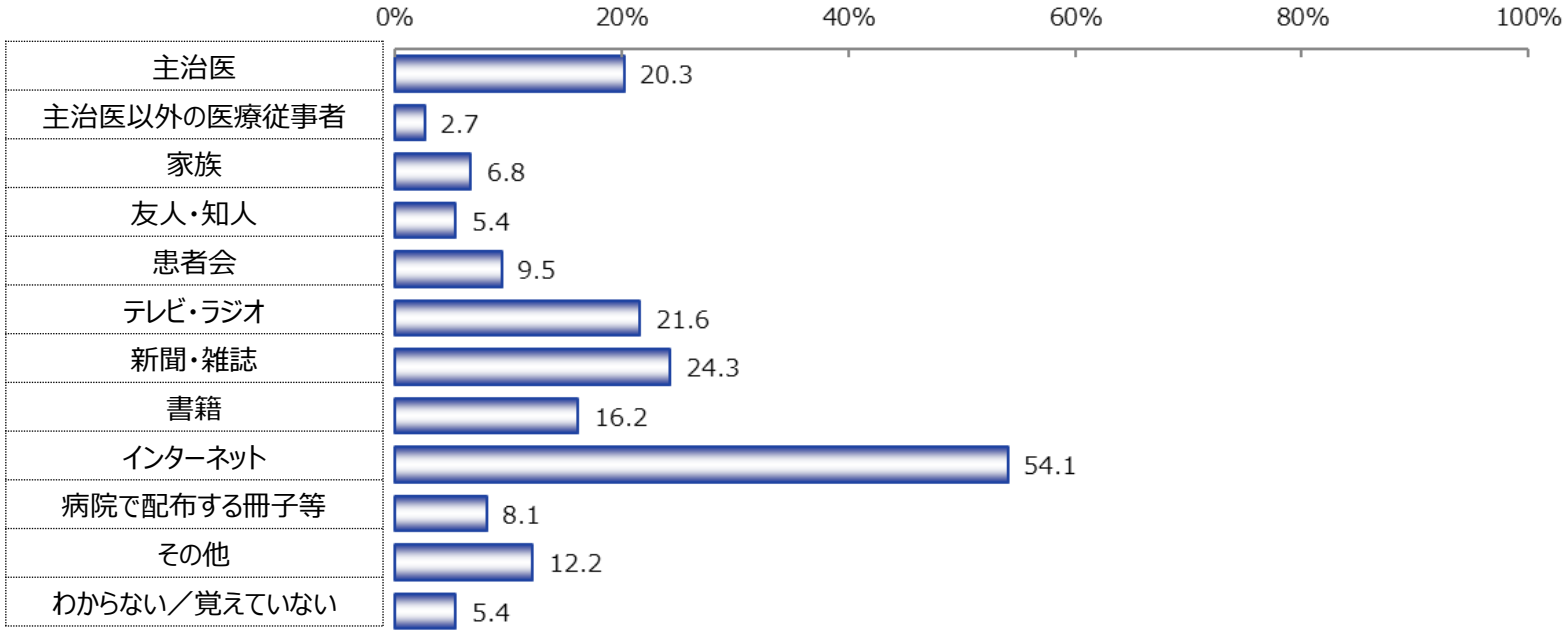
# 結果詳細
# がん遺伝子パネル検査に関して

# 「がん遺伝子パネル検査」の認知状況

- 認知状況に関して「はい」との回答は34.4%に留まった。
- 認知経路に関してはインターネットが最も高く、半数を超えた。（この調査の募集及び調査をネット経由で行っているため、対象者がネットをよく利用する方に偏っている可能性がある点に留意。）



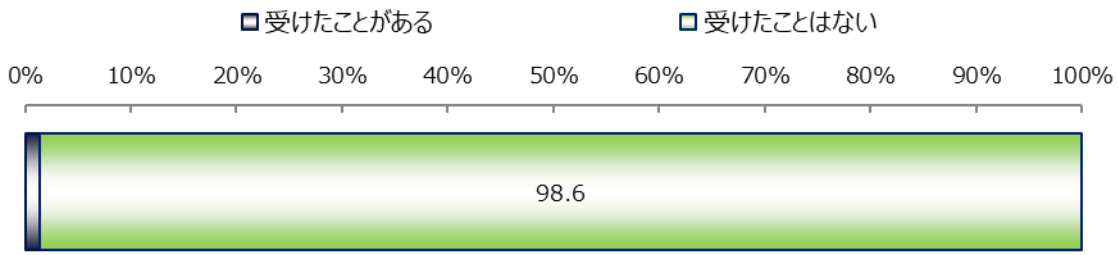

Q　「がん遺伝子パネル検査」をご存知でしたか。




Q　「がん遺伝子パネル検査」について、どこでお知りになりましたか。当てはまるものを全て選んでください。【複数選択】

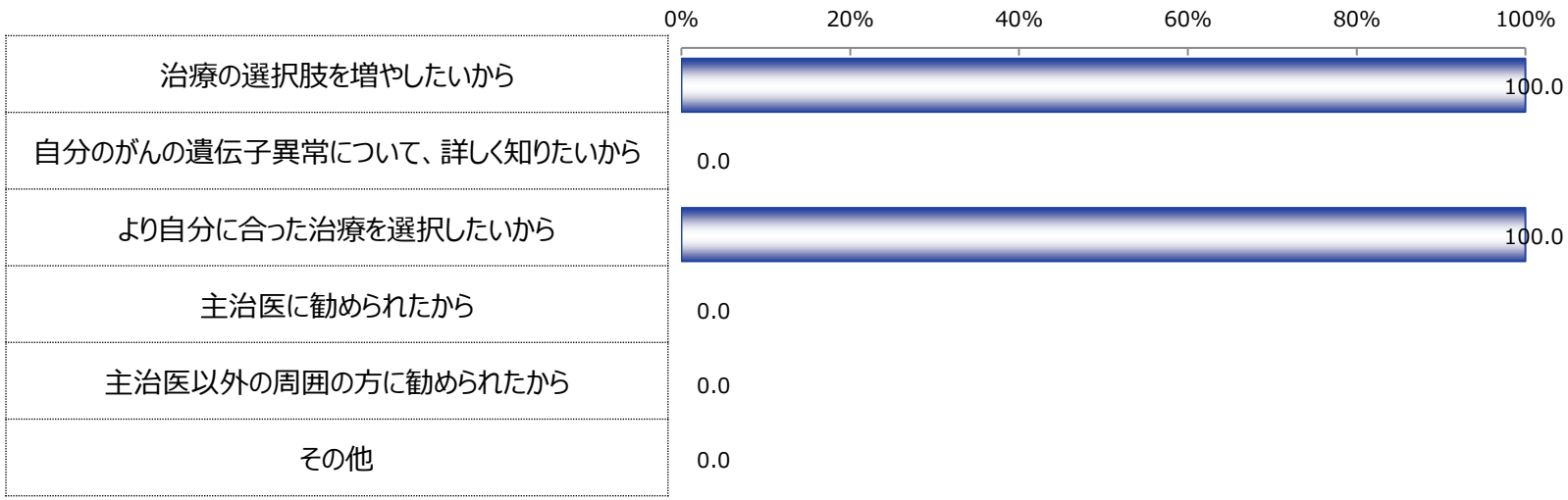
# 「がん遺伝子パネル検査」の受診有無

- 受診有無に関して、「受けたことがある」との回答は2%以下であった。
- 検査を受けた理由は「治療の選択肢を増やしたいから」「より自分に合った治療を選択したいから」が挙がった。




Q 「がん遺伝子パネル検査」を受けたことがありますか。

※n=2のため、参考値



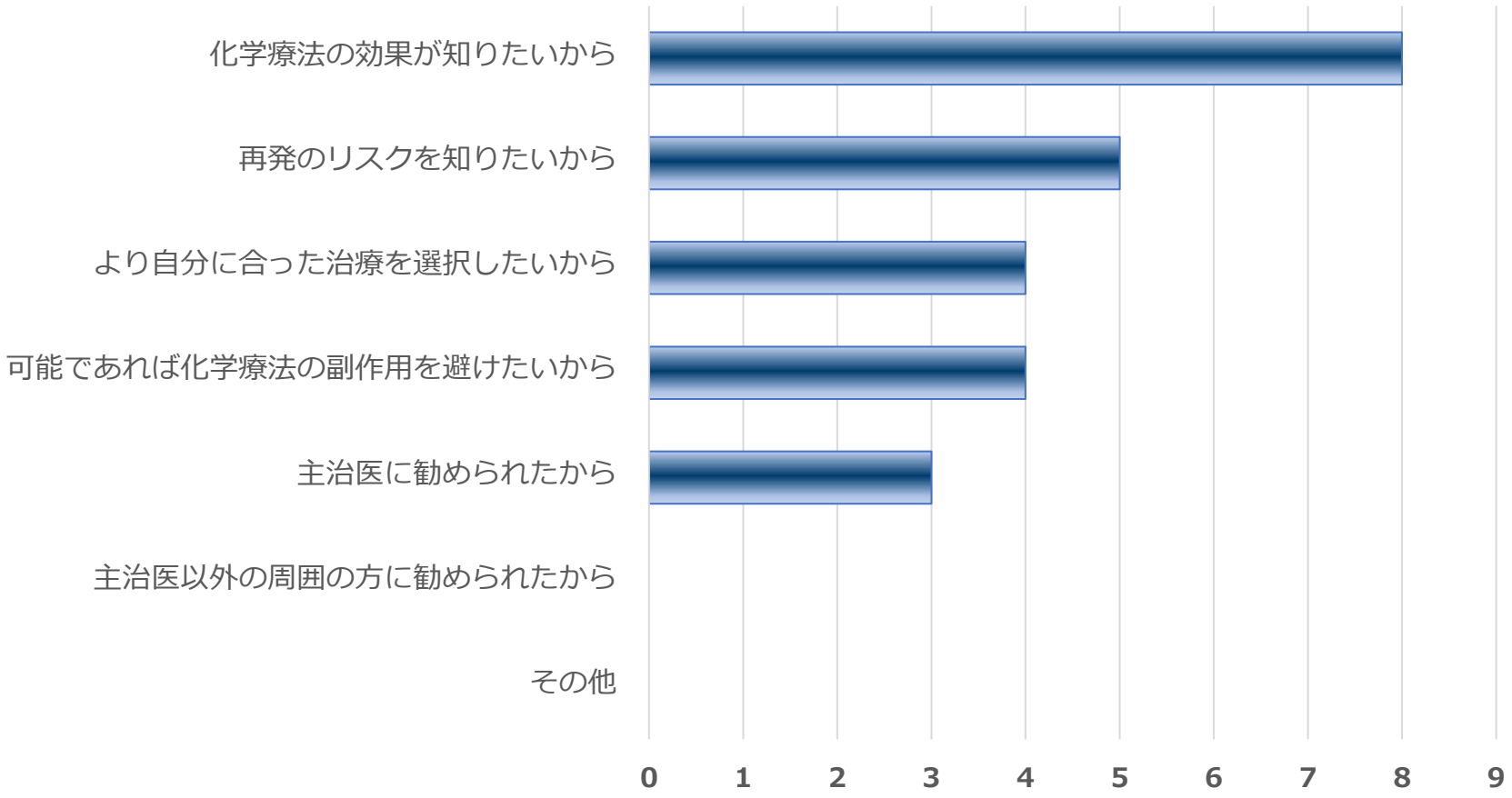

Q 「がん遺伝子パネル検査」について、どこでお知りになりましたか。当てはまるものを全て選んでください。【複数選択】

# 結果詳細
# 検査を受けた方の声

# 「オンコタイプDX検査」を受けた方の声①

※n=9のため参考

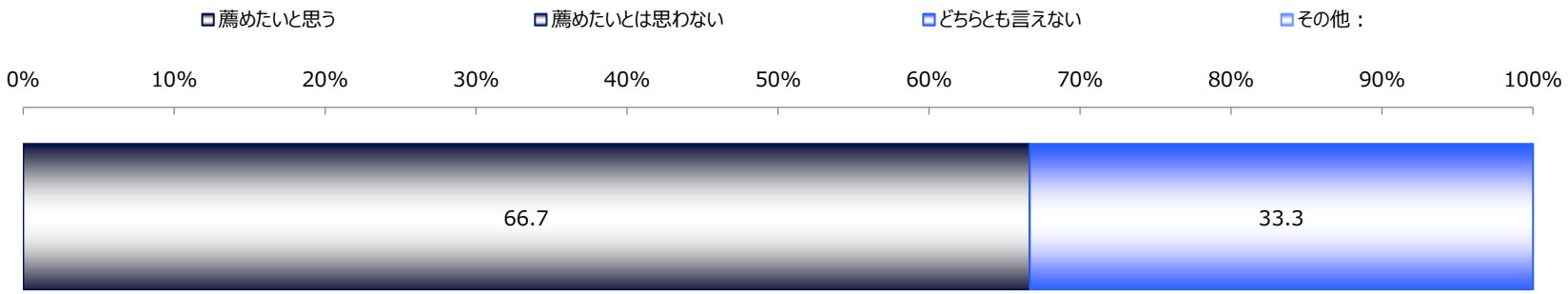
- 実際に「オンコタイプDX検査」を受けた方の、受けたいと思った理由として、「化学療法の効果が知りたいから」 との理由を9名中8名の方が選択し、ほとんど方が化学療法の効果を知るために検査を受けた、という結果であった。
- 次いで「再発のリスクを知りたいから」との理由を選択した方も5名に上った。
- 全体でも上記2つの理由を選択した方の割合が高く、全体と同様の傾向が見られた。




Q 「オンコタイプDX検査」を受けたいと思った理由について、当てはまるものを全て選んでください。【複数選択】

# 「オンコタイプDX検査」を受けた方の声②

※n=9のため参考




| | n | % |
|---|---|---|
| 全体 | 9 | 100.0 |
| 薦めたいと思う | 6 | 66.7 |
| 薦めたいとは思わない | 0 | 0.0 |
| どちらとも言えない | 3 | 33.3 |
| その他： | 0 | 0.0 |

<u>薦めたいと思う方の意見</u>
・アンダー／オーバートリートメントの状態を減らすことができる
・自分が受けるべき治療への納得感が増す
・微妙な結果だったが、化学療法をやらない選択を
　自費で高額なのが難点だが、不要な副作用を避けられるため満足している

<u>どちらとも言えない方の意見</u>
・受けた結果、中間リスクに該当した時またおなじ選択で迷う
・検査の内容としてはいいのですが、高額すぎる為
・値段が高いので、一概には勧められない。でも、できたら、みんなが受けられればいいのにと思う

Q　「オンコタイプDX検査」を受けたことのある方に質問します。検査を周囲の人に薦めたいと思いますか。

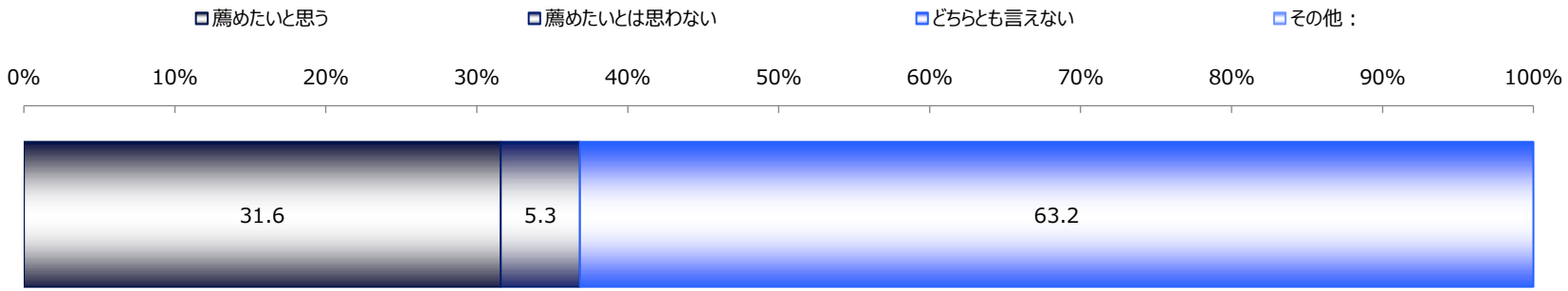
# 「オンコタイプDX検査」を受けた方の声③

※n=9のため参考

| | 治療歴 | 周囲に薦めたいか | 左記のように選択した理由 |
|---|---|---|---|
| 1 | ホルモンのみ | 薦めたい | 治療法の選択にあたって、納得できたから |
| 2 | 他治療実施 | 薦めたい | アンダー、オーバートリートメントの状態を減らすことができる<br>自分が受けるべき治療への納得感が増す |
| 3 | ホルモンのみ | どちらとも言えない | 検査の内容としてはいいが、高額すぎる為 |
| 4 | 他治療実施 | どちらとも言えない | 値段が高いので、一概には勧められない<br>でも、できたら、みんなが受けられればいいのにと思う |
| 5 | ホルモンのみ | 薦めたい | 無駄な治療を受けなくて済むように |
| 6 | ホルモンのみ | 薦めたい | 微妙な結果だったが、化学療法をやらない選択をした<br>自費で高額なのが難点だが、不要な副作用を避けられるため満足している |
| 7 | 薬物治療無し | 薦めたい | 負担が少ない |
| 8 | ホルモンのみ | どちらとも言えない | 受けた結果、中間リスクに該当した時またおなじ選択で迷う |
| 9 | 薬物治療無し | 薦めたい | リスクが軽減される |

Q 「オンコタイプDX検査」を受けたことのある方に質問します。検査を周囲の人に薦めたいと思いますか。

# 「BRCA1／2遺伝子検査」を受けた方の声




| | n | % |
|---|---|---|
| 全体 | 19 | 100.0 |
| 薦めたいと思う | 6 | 31.6 |
| 薦めたいとは思わない | 1 | 5.3 |
| どちらとも言えない | 12 | 63.2 |
| その他： | 0 | 0.0 |

※n=19のため参考

<u>薦めたいと思う方の意見</u>
・親族への注意喚起、自身の卵巣への注意など、知るメリットが大きいと感じるので
・（陽性であれば）治療選択肢が増えるので

<u>薦めたいとは思わない方の意見</u>
・本人が希望しないと薦めても無駄

<u>どちらとも言えない方の意見</u>
・その人の家族や親戚との関係性などによって受けるかどうかの個別性が大きいから
・陽性だった場合のショックが大きすぎたから
・高額なのと受けたからと言って不安要素が軽減される補償も無いので

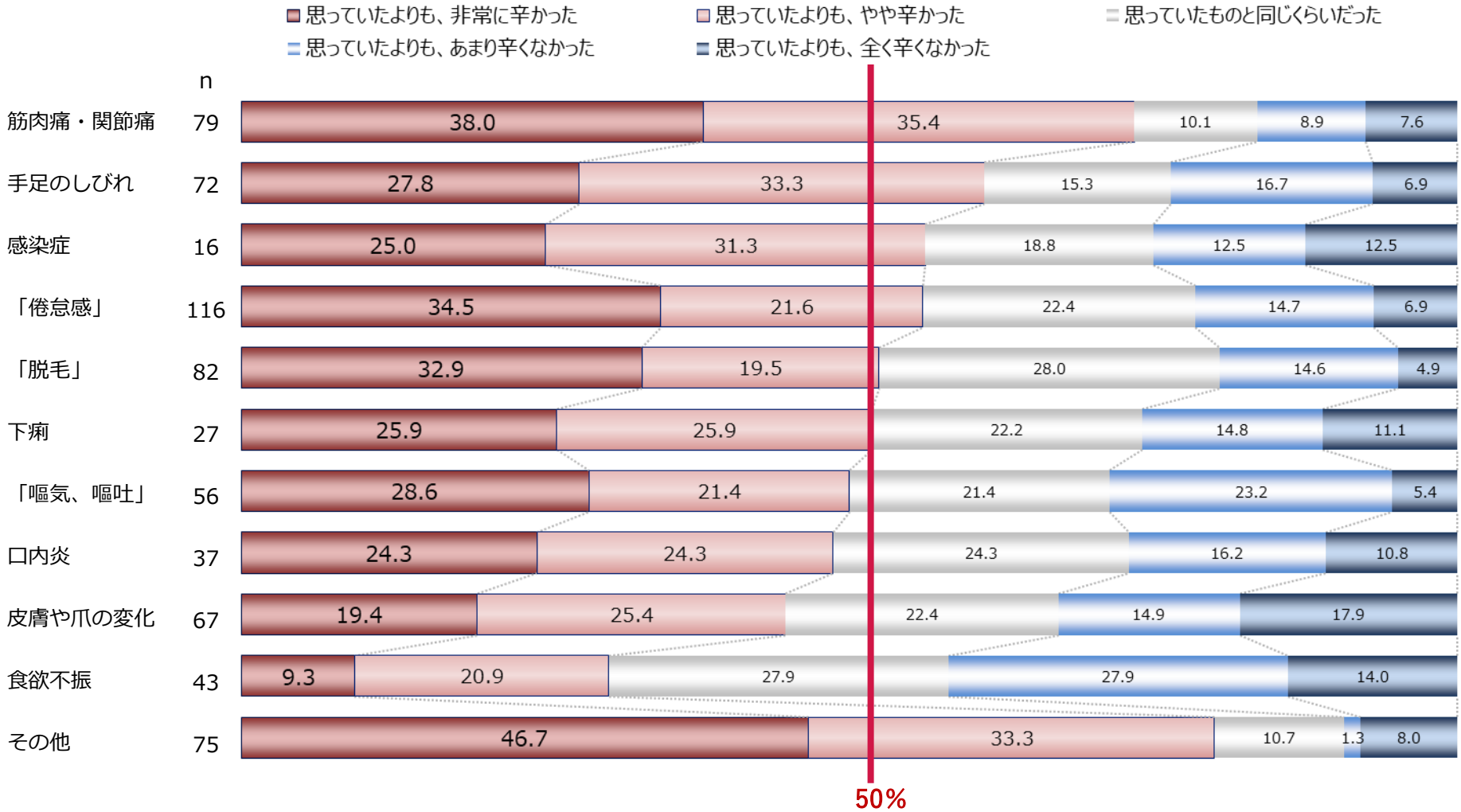
Q　「BRCA1／2遺伝子検査」を受けたことのある方に質問します。検査を周囲の人に薦めたいと思いますか。

# 参考資料

# 発現した各副作用の辛さ

- 各副作用がイメージよりもどの程度辛かったかを「非常に辛かった」「まあ辛かった」の回答を“辛かった”とした比率では「筋肉痛・関節痛」が最も高く、「手足のしびれ」、「感染症」、「倦怠感」と続いた。
- 上記に挙がった副作用に関しては投与前の患者の認識と実際の発現度合に乖離があると示唆される。

**各副作用の辛さ＜5段階尺度＞ 【Base：副作用で辛かった5位までにあがったもの】**




Q　治療開始前にイメージしていた副作用の程度と、実際に発現した副作用の程度の違いを教えてください。

# 参考：「その他」に挙がった、治療中に辛かった副作用

※辛かった副作用の1～5位に
「その他」を挙げた方の集計

| 症状 | n |
|---|---|
| 味覚症状 | 11 |
| 便秘 | 10 |
| ホットフラッシュ／ほてり | 9 |
| うつ／精神的症状 | 7 |
| 浮腫／むくみ | 5 |
| 発熱 | 4 |
| 体重増加 | 3 |
| 動悸 | 3 |
| 眠気／睡眠障害 | 3 |
| 皮膚症状（手足の皮むけ／湿疹と腫れ） | 2 |
| 痔 | 2 |
| 頭痛 | 2 |
| 息苦しい | 1 |
| 血管外漏出 | 1 |
| 腹痛 | 1 |
| 傷の痛み | 1 |
| 食道の痛み | 1 |
| 不正出血 | 1 |
| 流涙 | 1 |
| ケモブレイン | 1 |
| 食欲増加 | 1 |
| 不定愁訴 | 1 |
| ストレス | 1 |
| 肩／背中のこり | 1 |
| 手指の変形 | 1 |
| めまい | 1 |
| 月経停止 | 1 |